

## 5 女性の生き方について

問 4-1 あなたの考える、最も望ましいと思われる女性の生き方は、どれに近いですか。(○は1つ)

上記問 4-1 の項目について、女性の方、または配偶者のおられる男性の方に改めてうかがいます。

問 4-2 現在及び今後見込まれると思われるあなた(あなたが男性の場合は配偶者)の生き方は、どれに近いですか。上記問 4-1 の 1~9 の番号から 1つ選び、括弧内に選んだ番号を記入してください。

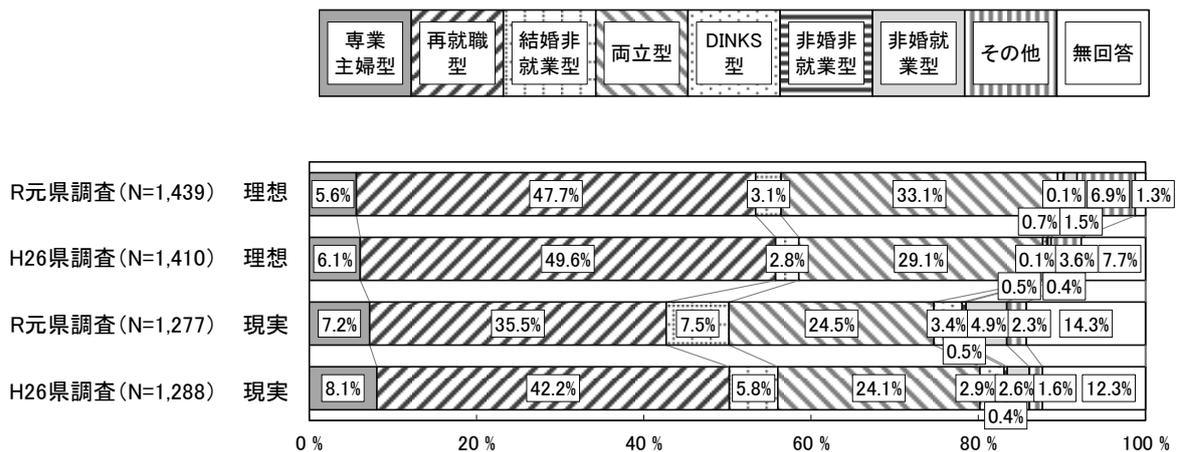
女性の生き方の理想(最も望ましいと思われる女性の生き方)についての考え方は、男女とも「再就職型」(結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ)の割合が最も高く(全体 47.7%、女性 48.9%、男性 45.5%)、次いで「両立型」(結婚し子どもを持つが、仕事を続ける)(全体 33.1%、女性 32.8%、男性 34.0%)となっている。

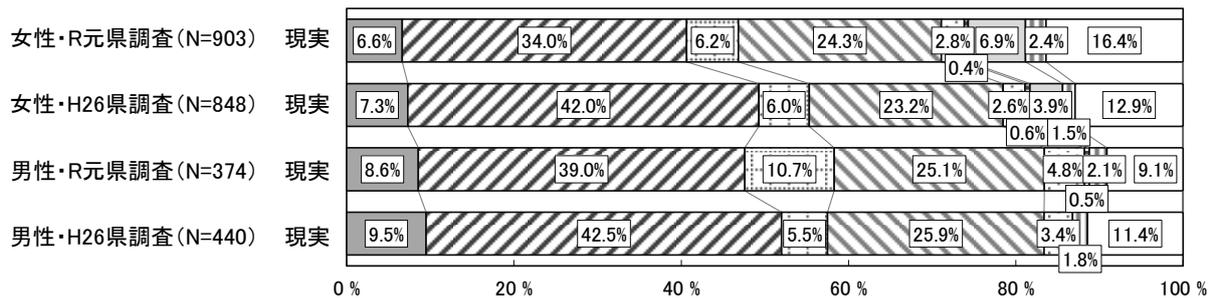
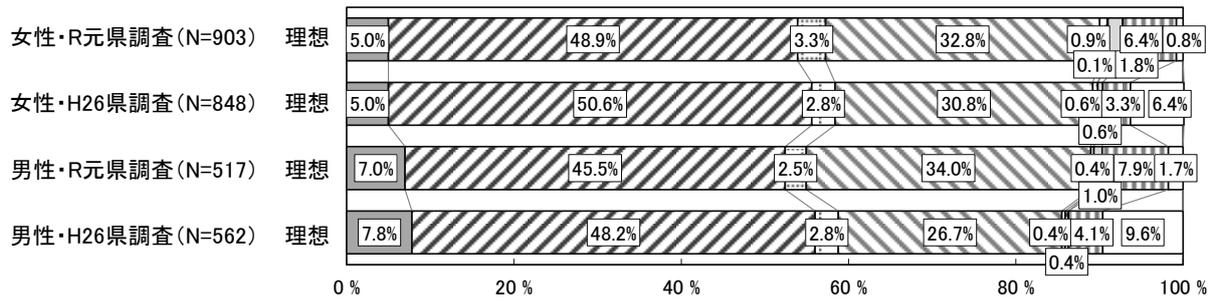
前回調査と比べると、1位が「再就職型」で2位が「両立型」であることに変わりはないが、「再就職型」の割合は 1.9 ポイント減少(前回 49.6%)し、「両立型」の割合は 4.0 ポイント増加(前回 29.1%)した。

また、考え方に男女の大きな差はみられない。

女性の生き方の現実(現在及び今後見込まれると思われるあなた(あなたが男性の場合は配偶者)の生き方)についての考え方においても、1位は「再就職型」で2位は「両立型」となっている。

図表 女性の生き方の理想・現実





専業主婦型 : 結婚子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない  
 再就職型 : 結婚子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ  
 結婚非就業型 : 結婚子どもを持つが、仕事を持たない、または、結婚子どもを持たず、仕事を持たない  
 両立型 : 結婚子どもを持つが、仕事を続ける  
 DINKS型 : 結婚子どもを持たず、仕事を続ける  
 非婚非就業型 : 結婚せず、仕事を持たない  
 非婚就業型 : 結婚せず、仕事を続ける  
 その他 : その他